

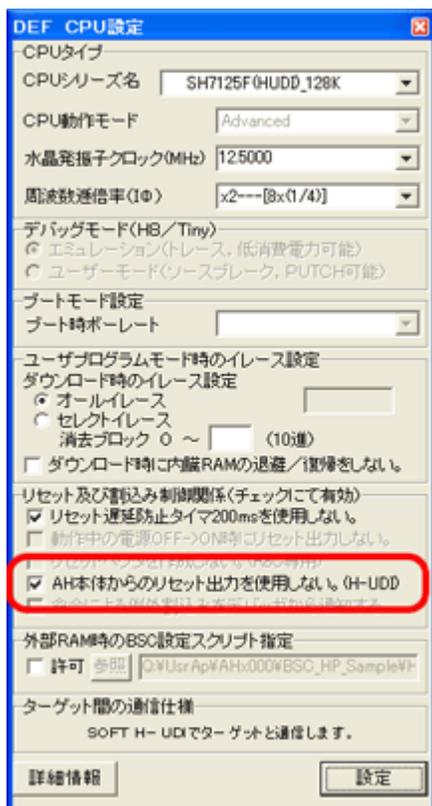
## SH-2 (H-UDI) のリセット出力を使用しない場合の説明

DEFバージョン 6.30A仕様より

### 【機能】

- SH-2 (H-UDI) 品種において、ターゲット側基板のリセット信号を入力側に変更出来ない場合でも対応できるよう機能追加しました。

### 【設定方法】

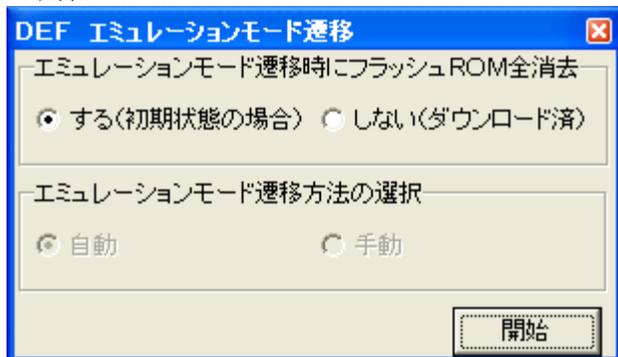


CPU設定で品種指定

←この項目に「チェック」を入れる。

### 【エミュレーション遷移手順】

<手順1>



- <ファイルメニュー>-<エミュレーション>-<モード遷移>を指定する。  
フラッシュROM全消去の指示は、状況に応じて選択する。

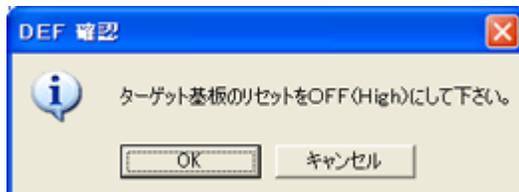
- 【開始】PBをクリックする。

<手順2>



- ターゲット基板のCPUリセット信号を「Low」に保持する。
- リセット信号「Low」に保持した状態で【OK】をクリックする。

<手順3>



- ターゲット基板のCPUリセット信号を「High」にする。
- 【OK】をクリックしますと、モード遷移が完了します。

### 【備考】

- このエミュレーション遷移の操作は、ターゲットの電源OFF等によりエミュレーションモードが解除されるまでは不要です。
- DEF操作からの「リセット」は、H-UDIリセットコマンド発行により代用します。(デバッガ回路以外は、ハードリセットと同等)
- H-debugger本体の「RST」信号は、「High」固定になっています。(オープンドレイン)

以上